

決 裁	議 長	局 長	主 事

受付

報 告 書

平成 年 月 日

湯前議会議長 倉本 豊 様

湯前町議会議員

議員派遣として参加（出席）した研修（会議）の内容（結果）は、次のとおりでありました。

期 間	平成 30 年 7 月 9 日（月） 午後 2 時 0 0 分～3 時 3 0 分
場 所	グランメッセ熊本 2 階 コンベンションホール
目 的	平成 30 年度町村議会常任委員長・議会運営委員長研修会

報 告 の 内 容	<p>講師：立正大学客員教授・総務省地域力創造アドバイザー 高野 誠鮮（たかの じょうせん）氏</p> <p>演題：地方創生・まちづくり ～ 限界集落の活性化は可能か？ ～</p>
	<p>1. 研修内容</p> <p>主な講演内容は以下のとおり。</p> <p>(1) 課題に取り組む思考</p> <p>(2) 地方が疲弊する原因と対策</p> <p>(3) プロジェクト推進</p> <p>(4) 石川県羽咋（はくい）市神子原（みこはら）地区の取り組み</p>

2. 所感

(1) 課題に取り組む思考として、「いなくてはならない公務員」「基本理念や責任所在のある役場思考」「できる理由を考え、とにかく実行すること」を目指さなければならない。 → 公務員志向の改革

(2) 行政は、会議や計画書の策定など無駄を省き、生産性の向上を意識しなければならない。

(3) 地方を元気にするには、「所得の向上」を目指さなければならない。そのためには、役場の職員たちに、アントレプレナー精神（起業家魂）を植え付けることが重要。

(4) 「理念」に基づく「戦略」が必要。講演では示されなかったが、「戦略」の前に「ミッション」や「ビジョン」が必要。

(5) 「総合戦略の中身は、政策だけで戦略がない」と説明を受けたが、私の解釈では「政策＝戦略」でよい。本町の場合、政策に対するミッションやビジョンを明確にして、各事業のP D C Aを速やかに繰り返すことが重要。

(6) 役場や役人が、住民から「よい政策をしてくれた！」と言われるような取り組みをして、住民と一緒に地方創生・まちづくりを推進しなければならない。